

みょうじょうのことごと

第六集

明星神社社務所

6月の『みょうじょうのことごと』をお届けします。本号は先月下旬にお届けの予定でしたが、いろいろと作業が重なり、発行が遅くなりましたこととお詫びします。

さて、今回も5月5日（祝・日）に執り行いました 明星神社賛歌『明けの星』奉納・発表式の、当日の様子をお伝えします。

【式は、定刻の3時間前から始まっていた】

令和6年5月5日（祝・日） 午前7時。天気は、雲ひとつない青空の快晴でした。

明星神社賛歌『明けの星』の奉納・発表式そのものは午前10時からの予定ですが、7時の時点で既に境内には仕事をされている人影がありました。本発表式の音響を担当してくださった北村音響さんです。

本殿前には演奏者用のモニタースピーカーを、会場後方にはメインスピーカーを据え、それらと音響ミキサーをつなげ、音のバランスを取っていきます。その手際の良さは、まさしくプロの仕事でした。



そして7時半過ぎには、長岡成貢さんが来られ、セッティングを開始されたその時、大事件が発覚！この式のために東京から持ち込んでくださった楽器が、輸送の途中で壊れたようでキーボードが使えなくなっていたのです。

「これは・・・」と、一同青ざめましたが、北村音響さんやビデオ撮影チームの方々すぐに音楽関係のお知り合いに連絡を取ってくださり、近くにお住まいの方の楽器を急遽お借りすることができ、事なきを得ました。いやあ、本当に助かりました。



こうしたトラブルはあったものの、セッティングは9時前には終わり、いよいよ本殿前でリハーサルが始まりました。まずは、演奏者のみでのリハーサルでしたが、これは演奏者同士の音合わせに加えて音響のセッティングも兼ねていて、ここでも北村音響さんが大活躍されていました。



最後に、明星小学校の皆さんも一緒に音合わせを行い、リハーサルは無事終了。あとは、本番を待つのみとなりました。

【午前10時、奉納式は始まった】

このリハーサルの合間を縫って、祭祀の準備も着々と進められていて、こちら9時過ぎにはすべてが整い、いつでも奉納・披露式が開催できるようになっていました。

式の開始予定時刻は10時でしたが、もうこの頃には本当に多くの方々が境内に詰めかけていて、「今までこんなに明星神社に人が集まったことがあったか？」と思うほどの盛況ぶりになっていました。9時50分頃に神社総代の方が、どれくらいの人数かを数えてくださったのですが、約150人でした。うう、新記録だっ！



午前10時、定刻通りに 明星神社賛歌『明けの星』奉納・発表式は始まりました。

まず、明星神社 下村宮司よりご来場の皆さまへのご挨拶、次に氏子を代表して明星地区にお住まいの下村由美子町長よりご祝辞、次に奉納者である長岡さんよりご挨拶をいただき、奉納式本番へと進んでいきました。

奉納式は、明星神社御祭神への神事ですので、最初の下村宮司よりお祓いと祝詞奏上があり、次に氏子代表として下村町長、続いて奉納者である長岡さんと千種さんの順で玉串奉奠が行われ、いよいよ『明けの星』の生演奏による奉納が行われました。



長岡さんのキーボードによるイントロに続き黒田さんのフルートの音色が響き始めると、詰めかけた大勢のお客さまもびたっと静まり返り、熱心に演奏に耳を傾けておられる様子が、ひしひしと伝わってきました。

そして、その静寂の中に染み渡っていくメロディーと松島さんの澄み切った歌声の素晴らしさは、その場において演奏を体験していないと実感が湧かないでしょう。生演奏、そしてこの『明けの星』という楽曲が持つ力をまさに体と魂で感じた瞬間でした。

この思いは、詰めかけた皆さんも同じだったのでしょうか、奉納演奏が終わった瞬間の大きな歓声と鳴りやまない拍手が、それを物語っていました。



上段：奉納演奏の様子
下段左：松島史奈さん 下段右：黒田由樹さん

【めい姫も来場】

奉納演奏が終わったところで、音響のセッティング変更のため10分間の休憩となりました。この時、なんと明和町のマスコットキャラクター「めい姫」がサプライズで登場してくれました！この日は「こどもの日」でしたので、会場のお子さんに記念のお菓子を届けにきてくれたのです。間近で見る「めい姫」に、子供も大人も大喜び！



「めい姫」が帰られたあと、長岡さん・千種さん・松島さんによるトークセッションが行われ、それぞれの方の『明けの星』にこめた思いや創作秘話などが語られました。

特に印象に残ったのは、作詞された千種さんが出だしの1語がなかなか思い浮かばず、とても苦労した、ということでした。でも、ある時突如としてひらめいてその語が浮かび、その後はすらすらと作詞が進んだのだそうです。

そして、その詞を受け取った長岡さんは、曲をほとんど1日で完成されたのだそうです。こんなに早く作曲が進んだ理由を、長岡さんは「詞の力とリズムのおかげ」とおっしゃっていました。なるほど、詞にはこういったパワーがあるのですね。

トークセッションのあとは、来場された皆さんに『明けの星』を明星小学校の生徒さんも加わって、再度ご披露し、続いて長岡さんが作曲された『永遠（とわ）の祈り』と『希望のひかり』が演奏されました。

以上をもちまして、今回の明星神社賛歌『明けの星』奉納・発表式は、滞りなく終了しました。



【明星神社賛歌『明けの星』の今後について】

今回 奉納・発表しました明星神社賛歌『明けの星』ですが、「素晴らしい！」という高いご評価と「この曲のCDは出ないのか」「CDはどうしたら購入できるのか」といったご質問を、たくさんいただいています。

現時点では、本年上半期に公開を予定しております明星神社公式ホームページにて、今回の奉納・発表式の様子をおさめたビデオとともに、『明けの星』もご視聴いただけるよう、環境を整備する予定です。

また、今後の明星神社での行事や御朱印の日には、『明けの星』の演奏を流していきます。

当神社としましても、せっかくの当神社のオリジナル曲なのでCDを作りたいのは山々ですが、そのためには『明けの星』を再度本格録音しなければならず、その費用の工面が大きな課題です。いずれにしても、積極的に『明けの星』の活用を進めていきますし、今後の新たな動きにつきましては、この「みょうじょうのことごと」でお知らせいたしますので、どうぞご期待ください。